

(様式1)

校種	①・中	学校番号	60	学校名	宇都宮市立上河内東小学校
----	-----	------	----	-----	--------------

## 平成31年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤として、「心の教育」の充実を図り、社会の変化に対応できる徳・体・知の調和のとれた、心身ともに健康で創造力に富む、人間性豊かな児童を育成する。

#### (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

仲よく助け合う子                   (やさしく)  
がまん強くやりぬく子           (つよく)  
よく考え進んで学ぶ子           (かしこく)

#### 今年度の重点合言葉

(自分から あいさつ・けじめ・思いやり)  
Greeting, balance  
& kindness from me

### 2 学校経営の理念

目指す学校像「楽しくいきいきした学校・やさしさのあふれる学校」を達成させるために、教師像としては「子どもを愛し、信頼され、子どもと保護者の願いに応えられる教師、教師の使命と責任を自覚し、資質・能力の向上に努め、自己の持ち味を生かす教師、明朗で心身ともに健康な教師、協働・同僚性を大切にする教師」を目指し、児童一人一人が意欲をもって精一杯活躍し、達成感や満足感を十分感じながら豊かな人間力を磨くことが出来る魅力ある学校を全職員で創造していくとともに、保護者や地域の協働のもと学校の教育力の活性化を図る。

### 3 学校経営の方針           (地域学校園内で共通する方針は、文頭に○)

人間力の基盤となる「豊かな心」「健康な体」「確かな学力」を育成するために

- (1) 豊かな環境、保護者や地域の教育力や全職員の創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進し、魅力ある学校づくりを目指す。
- (2) コミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係を構築する。  
思いやりの心や規範意識を高め、人とよりよいかかわりながら活動する環境づくりを行う。
- (3) 自ら健康を考え実践する能力を育成する。  
健康に関心をもたせ、積極的に体づくりや食育を推進する。
- (4) 確かな学力の向上を図る。  
主体的・対話的で深い学びを実現する授業の工夫・改善を重ねることにより、基礎学力の確実な定着を図る。
- (5) 特別支援教育を踏まえた児童理解や学級経営に努める。
- (6) 小中一貫教育を生かした教育計画の工夫・実践と上河内地域学校園構想と連携した教育活動の実践に努める。
- (7) 教育公務員としての使命を自覚するとともに、協働・同僚性を大切にし、教職員としての資質・能力の向上を図る。
- (8) 学校における働き方改革の推進に向けて、勤務時間を意識した働き方を推進する。

#### [上河内地域学校園教育ビジョン]

かしこく、たくましいゆずっ子の育成

～基本を身につけ、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう～

#### 4 教育課程編成の方針

- (1) 小学校学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・改善に努め、教育目標の具現化を図る。
- (2) 地域の実態をふまえ、本校の創意工夫を生かした特色ある教育活動を作り出すようにしていく。
- (3) 学校としての指導体制や、学校間やPTA・地域の人々との連携・支援体制を整える。

#### 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
  - ・確かな学力と豊かな心の育成を旨とし、教職員が互いに高めあうとともに同僚性を大切にした学校経営の推進
- (2) 学習指導
  - ・基本を身に付け、生き生きと学び合う児童の育成
  - ～学びが実感できる授業の実践と基礎・基本の確実な定着を目指して～
  - ・小中一貫教育カリキュラムの推進や地域学校園としての学習ルール作成
- (3) 児童生徒指導
  - ・相手の立場に立って考え、人とよりよくかかわることができる児童の育成
  - ・基本的な生活習慣を身に付け、きまりを守って行動する児童の育成
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
  - ・進んで体力の向上と健康の保持増進に取り組み、目標に向かって努力する児童の育成
  - ・地域の特色を生かした食育の推進

#### 6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

#### 7 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
  - ・互いに認め合い、相手の気持ちを考えて行動するやさしさ
  - ・自分で考えて行動する自主性
  - ・確実に基礎・基本を身に付ける力
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組みには文頭に◇）
  - ①やさしさを育てる活動
    - ・異年齢活動（◇収穫祭「東っ子元気祭」 縦割班清掃 登下校班活動） ・◇花壇整備等
    - ・道徳の時間の重視（体験活動との関連、資料の活用、授業展開の工夫）
    - ・読書活動の推進（心に響く物語の勧め、図書ボランティアや教職員による読み聞かせ）
  - ②やさしさと自主性を育てる児童会活動
    - ・羽黒山全校登山と◇1年生を迎える会 6年生を送る会 児童集会 あいさつ運動
    - ・人権週間やいじめゼロ月間の取組
  - ③ 確かな学力の向上を図る指導
    - ・基礎学力の確実な定着を図る個に応じた指導
    - ⇒T T授業 習熟度別学習 かがやきルームの活用 ◇月曆カレンダー等環境整備
    - ⇒ステップアップシートの活用（年5回）
    - ⇒◇ぐんぐんタイム（朝の10分間）での反復練習（国語・算数）
    - 及び要支援児童に対する「学び直し」活動での個別課題での支援

- ⇒家庭学習の習慣化（低・中・高学年に応じた家庭学習，自主学習の仕方の指導）
- ・主体的・対話的で深い学びが実感できる意図的授業の展開
- ⇒「ねらいとねらいに沿った振り返り活動」及び「学び合いの手法の工夫」の実践

## 8 本市の重点施策・事業と関連

### (1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

#### ①基本的考え

・宇都宮市教育委員会の平成31年度指導の重点の大目標「成長し続けるための基盤を培う」及び小目標の知「基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用する力を育成するとともに、目標を持ち、自ら学ぶ意欲を育む」徳「心の教育の充実により、自信や自己有用感、規範意識、思いやりを育成するとともに、たくましさを涵養する」体「生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。」及びうつのみや学校マネジメント全体アンケートの結果を踏まえ作成した学校評価書の総合評価を受けて以下のような考え方で進める。

- ⇒学校からの積極的な情報発信と家庭・地域への協力要請
- ⇒外に開かれた学校の推進（日常的な学校公開，学校支援ボランティアの活用）
- ⇒学校関係者評価を生かした学校経営の推進
- ⇒魅力ある学校づくり地域協議会の充実
- ⇒地域の教育力を取り入れた学習の充実
- ⇒学校，保護者，地域が連携した教育活動の充実

#### ②主な取組

- ・学校支援ボランティア，保護者地域人材の活用
- ⇒研究授業時の児童見守り
- ⇒田植え，稲刈り，野菜づくり，東っ子元気祭り（収穫祭），運動会
- ⇒環境整備（校庭除草，校内清掃），児童への読み聞かせ活動
- ・各種「たより」やホームページの活用
- ・重点目標「自分から，あいさつ・けじめ・思いやり」の児童への浸透

### (2) 小中一貫教育・地域学校園

#### ①基本的考え

・テーマを「かしこく，たくましいゆずっ子の育成」とし，地域学校園の機能的で連携した教育活動を推進する。

#### ②主な取組

- ・学力向上部会：地域学校園としての「学習ルール」や「9年間を通したカリキュラム」の作成とその実施
- ・学校生活適応部会：地域と協力したあいさつ運動の継続
- ・健康・体力・食育部会：ボール運動の継続指導，地域の特色を生かした食育の取組

- ・交流連携促進部会：小中の交流活動の推進，一人職種の連携
- ・特別支援部会：今年度からの新設に伴い地域学校園内の連携

### (3) 不登校対策

#### ①基本的考え

- ・改訂した「不登校対策の手引き・改訂版」を活用しながら，互いを尊重し合う温かな人間関係を築くなど，新たな不登校を生まない集団作りに努める。

#### ②主な取組

- ・各学級において当番活動や係活動，高学年にあっては委員会活動などの場を利用し，児童一人一人に活躍の場を与え，自己有用感のある学校生活が送れるようにすることで，開発的な不登校対策に努める。
- ・教育相談期間を設定し，定期的に全児童の学級内での人間関係を把握する機会を設け，不登校の予兆の早期発見に努めるなど，予防的な不登校対策を実施する。
- ・行き渋りや不登校児童が出た場合には，支援委員会等ケース検討の場を設け，適切に実態把握（アセスメント）を行い，それに基づいた目標設定と具体策の検討を実施し，全校体制で指導支援できるように対処する。